

2014年3月の金融経済概況のポイント

■景気の基調判断

- 景気判断は据え置きました。
 - 前月の「着実に持ち直している」との判断を継続しました。

■項目別の変化点

- 景気判断は据え置きました。

■今月の注目点

- 消費税率引き上げ前の、一時的とみられる駆け込み需要がみられます。
 - 自動車、耐久消費財の購入等のほか、住宅投資でも駆け込み需要が高まっています（今月公表文の経済指標は1月までです。2月、3月の消費関連の指標で更に強めの指標が出てくるものとみられます）。
- 堅調な需要動向を受けて、製材、住宅建設、家具製造等の業界では、総じて繁忙感が高まっています。もっとも、一部の製材メーカーでは、徐々にピークアウトしつつある先も出始めてきました。
- こうした動きの下で、雇用や家計の所得環境は、引続き緩やかな改善基調を続けていますが、まだ明確な回復感はありません。このため、今月の景気判断は据え置きました。

以 上